

大人が楽しむ科学教室2026

千葉市 科学フェスタ
これからの私たち
2026

申込方法

申込フォーム

2次元コードまたは下記URLからアクセスし、講座詳細ページから申込フォームへお進みください。

<https://www.kagakukanq.com/otonagatanoshimu>

※フォーム送信後、受付完了のメールがGoogleから自動配信されます。参加確定メールではありません。



往復はがき

※はがき1枚につき1講座1名のみご応募ください。

往信面裏側に応募講座名・申込者氏名・住所・電話番号をご記入ください。

宛先 ▶ 〒260-0013 千葉市中央区中央4-5-1 きぼーる7階 千葉市科学館「大人が楽しむ科学教室」係

※応募者多数の場合は抽選となります。申込フォームでご応募の方は締切後に当選者のみメールでお知らせします。はがきでご応募の方は返信はがきをご確認ください。

※同一講座に複数回お申込されても1回のお申込として扱います。(申込フォーム・はがき共通)

※講座開始後のご入場や途中退出はできません。時間に余裕をもってお越しください。

※当日残席がある場合は、開始15分前より会場にて受付を行います(先着順)。

会場 10階 探究実験室

対象 高校生以上(テーマに関心のある小中学生の参加可)

定員 各回30名

料金 要常設展示入館料(裏面参照)

申込締切 10月講座… 9月10日(木) 必着

11月講座… 10月13日(火) 必着

2026年10月のプログラム

かずさDNA研究所シリーズ

10/17 土 未来のイチゴはどう作る？ゲノム育種入門

13:30~15:00 講師 磯部 祥子 (いそべさちこ) | 東京大学大学院 農学生命科学研究科
生産・環境生物学専攻 園芸学研究室 教授



日本では多くのイチゴ品種が開発されていますが、イチゴはどのようにして新品種が生み出されるのでしょうか。本講座では、DNAやゲノム解析を活用した最先端の「ゲノム育種」をわかりやすく紹介します。イチゴの品種改良の歴史やさまざまな特徴を科学的に読み解きながら、気候変動にも対応する未来のイチゴづくりについて解説します。身近な果物を通して、生命科学と農業の最前線を楽しみながら学べる講座です。

健康の科学シリーズ

10/18 日 まち・住まい・自然が健康を支える？ 研究成果から考える、知らず知らずに健康になる環境のポイント

13:30~15:00 講師 花里 真道 (はなざと まさみち) | 千葉大学予防医学センター
准教授

オンライン登壇



健康づくりというと、運動や食事など個人の努力を思い浮かべがちです。しかし、私たちの行動や健康は、住まい、まち、移動、身近な自然などの環境にも影響を受けています。本講座では、地域環境と公衆衛生学の様々な研究でわかってきた知見を紹介しながら、健康を支援する環境を選び、知らず知らずのうちに健康につながる暮らし方を、参加者の皆さんと一緒に考えます。

かずさDNA研究所シリーズ

10/31 土 ゲノム研究、AIで何が変わるのか

14:30~16:00 講師 朴 聖俊 (ばく そんじゅん) | 公益財団法人かずさDNA研究所
先端研究開発部 AIゲノム情報学研究室 室長 /
ゲノム情報解析施設 施設長



ヒトゲノム解読の完了から20年以上が経ち、生命科学では膨大なゲノムデータが生み出されています。近年、AIはそのデータから新たな知見を発見する「共同研究者」として注目され、研究の進め方そのものを変えつつあります。本講座では、AIとゲノム研究の最前線を紹介し、生命科学の未来についてわかりやすく解説します。さらに、医療や創薬への応用の可能性についても触れます。

かずさ DNA 研究所シリーズ

11/1 日 コムギや作物はどうやって今の姿になり、どう変わっていくのか

13:30~15:00 講師 加星 光子 (かほし みつこ) | 公益財団法人かずさ DNA 研究所
先端研究開発部 シーズ開拓研究室 植物ゲノム編集チーム
特任研究員 (チーム長)

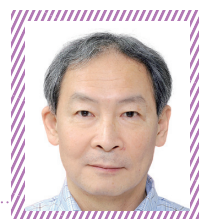


毎日、食べている様々な作物は人間の長い歴史の中で用途に適したものが選ばれてきました。コムギは 8000 年以上前に誕生して世界中に広がり、各地でその土地に合ったものが選ばれ姿を変えてきました。また、人口増加を支えるために、化学肥料によってたくさん収穫できる品種が開発されました。ゲノム解読により、人間が選んできた形質は遺伝子の変異で生じたことが分かってきています。ゲノム編集はこの変異を引き起こすことで、品種改良を加速することができます。これからの社会にどんな作物が必要か一緒に考えてみませんか。

化学月間

11/7 土 地球の息吹を感じて 地熱発電の今と未来

10:30~12:00 講師 有川 浩 (ありかわ ひろし) | 元出光興産株式会社 資源部 地熱事業室 室長 /
元出光大分地熱株式会社 取締役



地球温暖化対策の一つとして脱化石エネルギー政策・対策が進められています。一方で、今年に入って始まったイランとイスラエル・アメリカとの紛争は、こうした見直しや日本のエネルギー政策に一石を投じているのも確かです。こうした中、地熱発電は、再生可能エネルギーの一つとして、天候や季節に影響を受けない 24/7 なエネルギーとして、また純国産エネルギーとしてユニークな存在です。

46 億年前の地球の誕生に始まる地熱発電のメカニズムや歴史、現状と将来の展望について、易しく解説します。

化学月間

11/21 土 ファンデーションで肌をきれいに見せる ~メイクアップ化粧品の機能と科学~

10:30~12:00 講師 榎本 明生 (かしもと あきお) | 花王株式会社 スキンビューティ第 3 研究所 主席研究員



メイクアップ化粧品のひとつであるファンデーションは、シミや毛穴を目立たなくカバーすることを主な目的として使われる一方、肌として違和感なく自然に見えることも大事で、「隠す」とこと「隠しているように見えない」ことの両立が必要になります。またその化粧の効果が長時間持続する「化粧持ち」なども大事な性能です。本講座では日常的に使われるファンデーションの効果とその効果を生み出す素材や技術の例について紹介します。

化学月間

11/28 土 MOF とは何か？ MOF が社会で活用されるためには？

13:30~15:00 講師 酒井 求 (さかい もとむ) | 東京理科大学 工学部 工業化学科 講師



2025 年に京都大学の北川進先生が金属有機構造体 (MOF; Metal-Organic Framework) に関する研究でノーベル化学賞を受賞されました。本講座では、MOF の構造や作り方について解説します。また、家庭・産業において期待される用途について説明します。そのほか、実用化にあたっての課題と解決のための取組みについても紹介します。